

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 こどもプラス宜野湾教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1			利用定員、現在10名。それに対しての指導訓練スペースとの関係においては十分ではある。
	2 職員の配置数は適切である	2	2			年間を通して欠ける時もあり、その都度要請し募集している。今後の課題としてHPでの募集も検討する。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4				トイレにはスロープが付いている。入室は車いすでも可能。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			3		第三者委員を配置していない。外部評価に至ってはいないが、常時会議を開き互いに結果を改善していく目標は立てている。《無回答1》
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4					
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1			なるべくチームで考案できるよう配慮がある。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1			児童の来所が早い時は出来ないときもある。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2		会議という形でなくても互いに当日、気づいた点は話し合っている。	翌日のミーティングで改めて振り返り、支援へと結びつけている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4					
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	4				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		1	1		現時点で該当児童なし <<無回答2>>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	2	1	1		要請はしているので、今後必要あれば務める。 可能な範囲で、また必要性があれば行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	3		1		現在対象児童はいないが、今後移行が行われる 事があれば、その会議には積極的に参加する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3		1		県や支援センター等からの情報は全て職員へ共 有している。 必要時は市の委託相談員等などが参加する会 議に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	4				感染症が流行った数ヶ月は減っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		2	2		参加希望ではある為、お声かけがあれば参加す る。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	4				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2	2		外部による講演会 の案内を行う	職員の中でペアレント・トレーニングができる 人材を確保できれば、事業所内で行いた い。(スタッフの人材育成)
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している			4	保護者間で必要な際 のパイプ役として紹 介し同じ悩みの相談 者を繋げている。	父母会の組織はないがスタッフが増え、時間の 確保が出来るようになったら今後検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4				
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	2	2		自治会に加入し、地 域イベントや関わりを 積極的に行っている	ハロウィン等イベントを通して地域交流を意識し た活動を行う

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1	1	会議で話し合っている	現時点で該当児童がいない。行動制限の記録者等の準備はできている。身体拘束委員会で話し合われた内容を改めて周知徹底を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2		アレルギーがある児童・その内容を表示している。	医師ではなく、保護者との確認で対応出来ている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				ヒヤリハットは毎日意識している。